みずほCustomer Desk Report 2023/08/08 号(As of 2023/08/07)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

				公示仲値	141.67
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	141.88	1.1003	156.05	1.2749	0.6573
SYD-NY High	142.59	1.1026	156.80	1.2788	0.6592
SYD-NY Low	141.52	1.0966	155.83	1.2714	0.6555
NY 5:00 PM	142.46	1.1003	156.78	1.2785	0.6574

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	35,473.13	407.51	日本2年債	0.0100%	▲0.0100%
NASDAQ	13,994.40	85.16	日本10年債	0.6200%	▲0.0200%
S&P	4,518.44	40.41	米国2年債	4.7756%	0.0084%
日経平均	32,254.56	61.81	米国5年債	4.1695%	0.0324%
TOPIX	2,283.93	9.30	米国10年債	4.0956%	0.0548%
ｼｶｺﾞ日経先物	32,425.00	420.00	独10年債	2.5590%	0.0205%
ﾛﾝﾄﾞﾝFT	7,554.49	▲ 9.88	英10年債	4.4545%	0.0760%
DAX	15,950.76	▲ 1.10	豪10年債	4.0550%	▲0.1110%
ﾊﾝｾﾝ指数	19,537.92	▲ 1.54	USDJPY 1M Vol	9.57%	0.02%
上海総合	3,268.83	▲ 19.25	USDJPY 3M Vol	9.96%	▲0.02%
NY金	1,970.00	▲ 6.10	USDJPY 6M Vol	9.63%	▲0.03%
WTI	81.94	▲ 0.88	USDJPY 1M 25RR	▲0.88%	Yen Call Over
CRB指数	279.19	▲ 0.27	EURJPY 3M Vol	9.77%	▲0.21%
ドルインデックス	102.05	0.03	EURJPY 6M Vol	9.72%	▲0.15%

東京	東京時間は141.88ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。仲値にかけて141.52まで下押ししたものの、日経平均株価がﾏｲﾅｽ幅を縮小させﾌﾟﾗｽ圏に浮上する動きを横目にﾄﾞﾙ円は買い戻し優勢の展開。米金利の底堅さもあり142円台を回復し142.20ﾚﾍﾞﾙで海外時間に渡った。
ロンドン	ﾛﾝﾄﾞﾝ市場のﾄﾞﾙ円は、142.20ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。特段の材料がない中、米金利の小幅上昇を背景に142.45まで買われるも勢い続かず、結局142.20ﾚﾍﾞﾙでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のﾄﾞﾙ円は141円台後半でｽﾀｰﾄ。東京時間では、日銀7月会合の「主な意見」が発表され、「2%の持続的･安定的な物価上昇の実現がはっきりと視界に捉えられる状況になっている」との内容が材料視され、円買いが進み、141.52まで下落する。その後日経平均株価が上昇する展開を受け、一転円売りが強まり、底堅く推移し142.20ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。朝方は今週の米国債入札を控え、債券市場で売りが持ち込まれ、米金利が上昇していたが、その後落ち着く展開にﾄﾞﾙ売りが優勢となり、141.82まで下落する。その後、ﾀﾞｳ平均株価の堅調な展開に反応し、ﾘｽｸ選好の円売りが優勢となった事から、142.46まで上伸。午後も円売りが続き、高値の142.59まで続伸し、142.46ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞ。一方、海外市場のﾕｰﾛﾄﾞﾙは1.10台前半でｽﾀｰﾄ。じり安での推移が続き、1.0990まで値を下げる。その後ﾕｰﾛ圏8月ｾﾝﾃｨｯｸｽ投資家信頼感指数が予想より改善された結果となるものの、特段材料視されず、1.0966まで下げ幅を拡大する。その後小幅反発し、1.0984ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。午前中は米金利が低下する動きを受け、1.1011まで戻す。しかし、その後は伸び悩み、1.10台丁度付近を挟んだ狭い値動きとなる。午後も手がかり材料が見当たらない中、1.10台丁度付近での動意乏しい推移が続き、1.1003ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:松木・鈴木

【昨日の指標等】

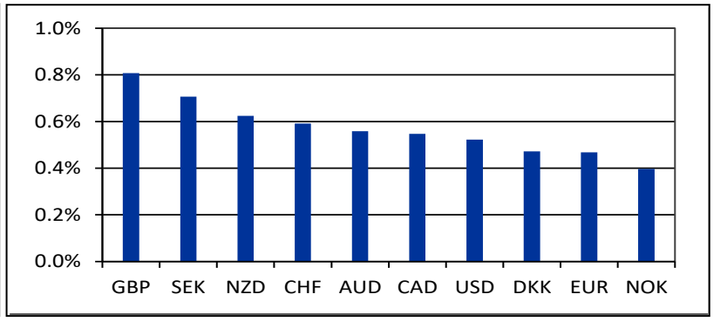
Date	Time		Event		結果	予想
8月7日	14:00	日	景気一致指数･速報	6月	115.2	115.1

【本日の予定】

Date	Time		Event		予想	前回
8月8日	09:30	豪	ｳｴｽﾄﾊﾟｯｸ消費者信頼感指数	8月	-	81.3
	21:30	米	貿易収支	6月	-$65.0B	-$69.0B
		中	輸出(前年比)	7月	-13.2%	-12.4%
		中	輸入(前年比)	7月	-5.6%	-6.8%
		中	貿易収支	7月	$70.00B	$70.62B

【ドル円相場】

【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	142.00-143.50	1.0950-1.1050	155.50-157.50

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は上昇。東京時間141.80レベルでオープンすると、仲値付近にかけ141.52まで下押すも日経平均株価が上昇に転じるとドル円は142円台を回復。海外時間に入るも特段材料のない中、流れは変わらず。一時ドル売り優勢となり142円を割れる場面があったが、米国株式の堅調な推移にリスク選考の円売りが強まるとドル円は上昇。高値142.59を付け、結局142.46レベルでクローズした。
週後半に控える米7月CPIなど米インフレ指標待ちの中、本日のドル円は底堅く推移すると予想。
YCC柔軟化後も臨時の国債買い入れオペによって金利上昇を抑制する姿勢を見せる日銀の姿勢に日米金利差が再意識され、ドル円は底堅く推移すると予想する。また、本日はFED高官発言も複数控えており内容には留意したい。